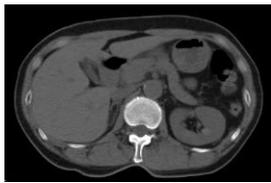


CT・MRI造影検査を受けられる患者様へ

(患者様用)

造影剤の作用

小さな病変や正常部位との区別が付きにくい病変においても、造影剤を用いる事で明瞭に描出できます。そのため、**より正確な診断を可能とします。**



単純画像

造影剤注入



造影画像

体の内部構造が、明瞭に描出されます

副作用

下記のような副作用が起こる場合があります。

- ・軽い副作用：嘔吐、くしゃみ、蕁麻疹、鼻づまり (CT：5%未満、MRI：0.1%未満)
 - ・重い副作用：呼吸困難、意識障害、ショック (CT：0.004%未満、MRI：0.1%未満)
 - ・合併症として、造影剤が血管の外に漏れ、腫れ、痛みを伴うことがあります。殆どは時間がたてば吸収されますが、漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要になることもあります。
- ※当院で造影検査を行う際は、安全を確認しながら慎重に行っています。

造影剤を使えない場合

下記の方については、副作用のリスクがあるため造影剤が使えない場合があります。



腎機能が悪い方



妊娠されている方



喘息のある方

・以前に造影剤を使った検査で
具合が悪くなった方

(CT造影検査のみ不可)

- ・ヨードアレルギーをお持ちの方
- ・甲状腺の病気をお持ちの方

糖尿病の方 (CTのみ)

ビグアナイド系 糖尿病薬と**ヨード造影剤 (CT)** を併用すると、乳酸アシドーシスという病状をおこす恐れがあります。

下記の糖尿病薬を服用されている場合、医師に相談し、一時的に服用を中止してください。

※緊急の場合を除き、造影剤使用の前後2日間服用中止

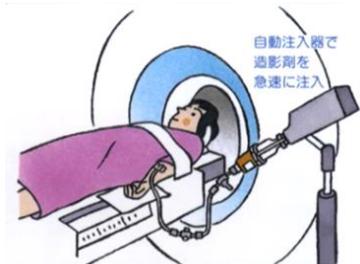
＜ビグアナイド薬＞

- | | | | |
|---------|-------------|-----------|-----------|
| ・メトグルコ錠 | ・メトホルミン塩酸塩錠 | ・グリコラン錠 | ・ネルビス錠 |
| ・メデット錠 | ・メタクト配合錠 | ・エクメット配合錠 | ・イニシンク配合錠 |
| ・ジベトス錠 | ・ジベトンS腸溶錠 | | |
- (2018年2月現在)



造影剤の使用法

腕の静脈から造影剤を注入して撮影を行います。
ほとんどの場合、自動注入器を用いて造影剤を注入し、
更にその効果を高めるため、急速に注入することもあります。
※ほぼ全例で**体が熱くなります**が、血管の刺激に伴う正常な反応で、
心配ありません。



自動注入器による静脈注入

造影剤の検査前は

禁食です。3時間以内の食事はお控えください。また、水分に関しては少量の水やお茶など飲んで頂いて構いません。
血圧の薬等、常用薬はいつもどおり服用してください。

造影剤の検査後は

水分を多めにとってください。
造影剤は尿中に排泄されます。
尿中排泄率は、1時間でおおよそ50%前後
24時間で93~99%です。
造影剤投与後24時間は授乳を避けてください



安全に検査を行うため、
ご協力をお願いします



料金について

検査料金は3割負担の方で、約1万~1万5千円です。

予約TEL&FAX

放射線科直通：045-984-2474

医療法人社団三喜会

横浜新緑総合病院

よこはましんみどりそうごうひょういん